

ここまでわかった！ 河合町の歴史



河合町教育委員会

はじめに

『河合町史』は昭和 56 年(1981 年)に発行されました。

発行後から現在にかけても歴史の研究は進み、新しく見つかった史跡や遺跡など以前よりわかったことがあります。

この本では、『河合町史』刊行以後、新たにわかったことを中心に河合町の歴史をお伝えします。



プロフィール

名前：すな丸

誕生日：2月11日

性格：人なつこく、天真らんまん、好奇心おうせい

好きなこと：人がたくさんいるところへ行くこと

ゆめ：子どもたちと河合のまちを元気にすること

平成 25 年(2013 年)に、河合町のイメージキャラクターとして誕生したすな丸は、廣瀬神社の砂かけ祭が大好きな子どもの姿をした精霊です。牛のお面には不思議な力があり、気がつくと誰かの近くにいます。



目次

はじめに	1 ページ
目次	2 ページ
「御墳印帖」プロジェクト	3～4 ページ
河合町の遺跡について	5～6 ページ
旧石器時代	7～8 ページ
縄文時代	9 ページ
弥生時代	10 ページ
古墳時代	11～19 ページ
飛鳥時代～平安時代	20～23 ページ
鎌倉時代	24～25 ページ
室町時代～戦国時代	26～27 ページ
江戸時代	28～30 ページ
おわりに	31 ページ
河合町内所在の指定文化財一覧	32 ページ
町内所在遺跡・文化財年表	33～34 ページ
河合町内学校年表	35 ページ
もっと見たい!知りたい!学習案内	36 ページ



ごふんいんちょう
「御墳印帖」プロジェクト



令和3年(2021年)町制50周年を記念して『河合町史跡&古墳めぐり

ごふんいんちょう
「御墳印帖」プロジェクト』が始まりました。



町内の古墳や史跡をめぐって

ごふんいん
御墳印 をあつめよう!



町制50周年のイベントのひとつとして、

6月から河合町史跡&古墳めぐり「御墳印帖」プロジェクトがスタート!

御墳印帖の
デザインは約20種
類! お気に入りを
見つけてネ♪



●御墳印帖は1冊1,000円。中央公民館窓口にて販売。



御墳印のあつめ方

①

個人やグループで
現地に赴き撮影



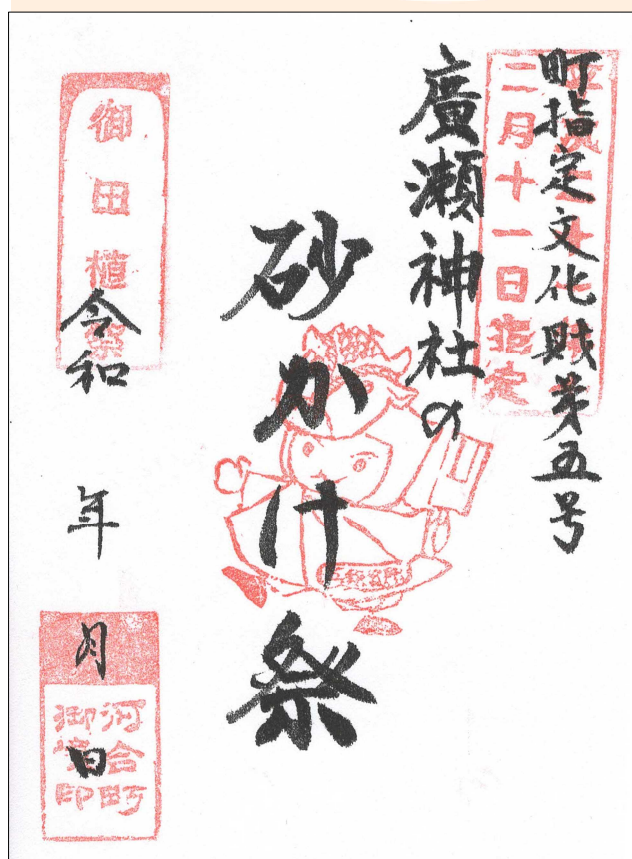
②

中央公民館事務所で
撮影した画像を見せる



③

置き書きの
御墳印をゲット!



ひろせ すな まつり ごふんいん
(↑ 廣瀬神社砂かけ祭の御墳印)

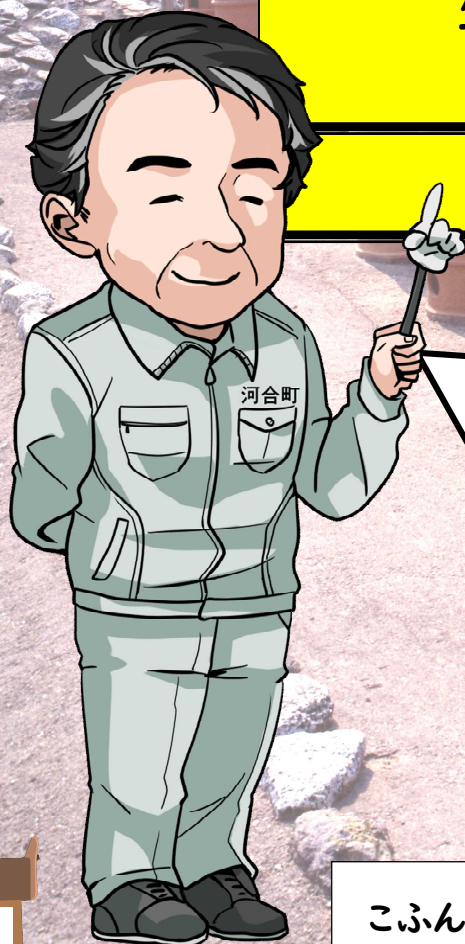
おおつかやまこふん ひろせ ほんでん
大塚山古墳や廣瀬神社本殿、
じょうりんじ ぶつぞう
定林寺の仏像など、町内にある
こふん ぶんかざい とくちょう
古墳や文化財が特徴ある「印」とな
りました。町内文化財の「印」化は
今後も続きます。



かわいちょう いせき
河合町の遺跡について

昔 かわいちょうしょうさい いせき ぶん ぶちょうさ『河合町詳細遺跡分布調査』(平成2年(1990年)3月) とうさい いせき登載の遺跡数

種類	いせき 遺跡の数
いぶつさんぶ 遺物散布地 (地面に土器のかけらなどが散 らばっているところで、地下に いせき 遺跡があると予想される場所)	46
こふん 古墳 (かくじつ こふん 確実に古墳かどうかよくわから ないもの、むかし はにわ 埴輪が出土し たところなども含めた数)	58
化石出土地	5
じいんあと 寺院跡	1
いせき 生産遺跡 (かわらがまあと 瓦窯跡)	1
計	111



「昔」と「げんざい現在」を見比べると
いせき遺跡の数がふ増えていることが
わかります。

研究が進み、新たにこふん古墳など多
くのいせき遺跡が見つかりました。

現在

令和3年(2021)年度のざんてい遺跡数(参考)

種類	いせき 遺跡の数
いぶつさんぶ 遺物散布地	41
こふん 古墳	67
その他の墓 (古墳時代の古墳以外の墓。 例、平安時代の木棺墓)	4
しゅうらくあと 集落跡	4
その他の遺跡 (奈良時代の道路跡)	1
化石出土地	5
じいんあと 寺院跡	2
生産遺跡 (窯跡、石器製作所など)	3
計	127

新しく見つかった

こふん
古墳などを見に行ってみよう!

次のページからは河合町内に

ある古墳や文化財を紹介するよ!

はにわ助手

きゅうせっき 旧石器時代

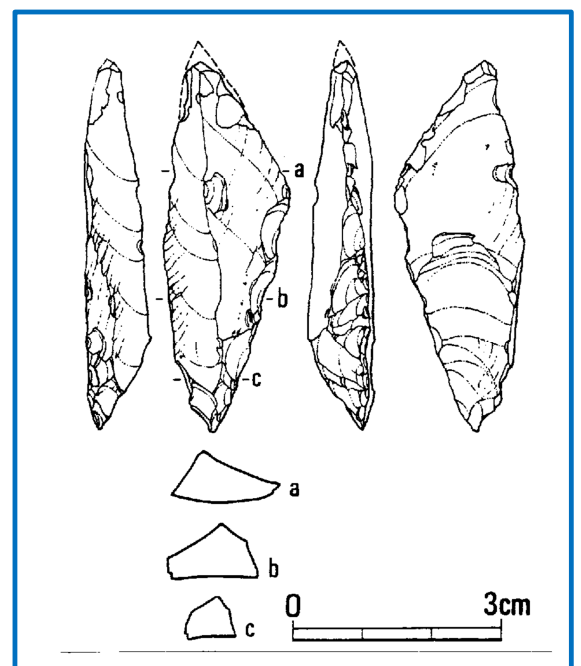
日本では、土器が作られる前の時代で、
約 10,000 年前までの時代です。

現在の河合町の範囲で、最古の遺跡は馬見二ノ谷遺跡（山坊）です。平成 14 年（2002 年）に、馬見丘陵公園の緑道を造る工事の前に行われた発掘調査で初めて確認されました。今から約 16,000～15,000 年前の石器が約 6,500 点出土しました。石器を作るときに出る石のかけらも見つかっています。

石器の材料は、二上山のふもとで採れるサヌカイトと呼ばれる石で、硬くて、表面は灰色で中が黒い石です。この時代の石器は、石を割って作っていました（打製石器）。サヌカイトは割れ口が鋭く、そのままだでもカッターナイフのように使えますが、使う目的にあわせて使いやすい形に加工し、使い分けていました。

この遺跡では、二上山のふもとから運ばれた原料のサヌカイトを割ってたくさんの石器を作り、必要な人々に分けていたようです。作った石器と必要な物を交換していたのかもしれません。

また、フジ山遺跡（泉台）でも旧石器時代のナイフ形石器が見つかっています。この遺跡のすぐ北側を流れる大和川で石器を使って魚や水鳥を捕ったり、調理したりしていたのでしょうか。



写真と図：フジ山遺跡のナイフ形石器



うまみにのたにいせき
写真：馬見二ノ谷遺跡



うまみにのたにいせき かんばん
写真：馬見二ノ谷遺跡 説明看板



うまみにのたにいせき はっくつちょうさ
写真：馬見二ノ谷遺跡 発掘調査の様子

(奈良県立橿原考古学研究所提供) 複製・転載禁止

はっくつちょうさ 発掘調査あるある小話

うまみにのたにいせき そんな
馬見二ノ谷遺跡はこれまで全く存在が知られて
いませんでした。うまみきゅうりょう 公園の工事に先
立ち、しくつちょうさ ちょうさ 期間の終わり頃
に深く掘り下げた溝の底から石器が出土したこと
で遺跡だったことがわかりました。有名なエジプ
トのツタンカーメン王墓も、予定していたちょうさ
期間の終わり頃に発見され、その後本格的なちょうさ
が行われたと伝わっています。

うまみにのたにいせき ほんちょうさ しくつ
馬見二ノ谷遺跡でも、その後の本調査は試掘
ちょうさ
調査より多くの日数がかかりました。

このように、ちょうさ 期間の終わり頃に重要な物
が見つかることはよくあることです。

じょうもん 縄文時代

きゅうせっき
旧石器時代に続く時代で、人々は土器を使う

ようになりました。

かわいちょう
河合町内では、城古・長楽・穴闇・佐味田で縄文土器が出土してい
ます。城古の宮堂遺跡では、土器の他に石器や剥片（石器をつくったと
きにできるかけら）も出土しています。宮堂遺跡には縄文時代晩期の集
落があったと考えられています。

ちやうらくいせき
長楽遺跡では宮堂遺跡よりも古い縄文時代後期の土器の破片が出
土しています。

なぐら
穴闇では、九僧塚古墳の発掘調査で縄文土器が出土しています。
古墳時代になって、古く縄文時代に集落があったところを掘り返し、そ
の土を盛り上げて九僧塚古墳をつくったようです。

じょうもん
縄文時代の人々は、水辺に近いところでまわりより少し高くなっている
ところ（微高地）に家を建てて暮らしていたようです。



写真：宮堂遺跡航空写真
（右上の森は廣瀬神社）



石器・スクレーパー



石器・石錐（きり）



石器・石鏃（やじり）



じょうもん
縄文土器のかけら

写真：宮堂遺跡出土品